

岡本台病院

病院の概要

地域精神医療の基幹病院として、精神科一般診療やアルコール・薬物依存症の診療、デイ・ケアの実施をはじめ、自傷他害のおそれがある患者や休日・夜間の精神科救急患者等の積極的な受入れに努めるとともに、精神障害者の早期の社会復帰を促進しています。また、心神喪失者等医療観察法に基づく「指定入院医療機関」、「鑑定入院医療機関」及び「指定通院医療機関」として対象患者を受け入れています。

令和2(2020)年度の主な取組

- ◇ 「栃木県立岡本台病院経営改革プラン[第3次]」に基づき、患者さん一人一人に高度・専門的な精神医療を提供するとともに、更なる経営改善・業務改善に取り組みました。
- ◇ 令和2(2020)年4月に「新型コロナウイルス感染症医療特命チーム」を結成し、特命チームが中心となって、防護衣着脱や検体採取等の訓練を行い、院内感染予防体制を整備しました。
- ◇ 岡本台病院地方独立行政法人化検討会及び5つの検討部会で、独法化に向けたより具体的な検討を進めました。
- ◇ 令和3(2021)年2月から主にアルコール依存症の方を対象とした専門外来プログラム(GTMACK)を開始し、同年3月に栃木県初の依存症専門医療機関として選定されました。
- ◇ 利便性の向上や待ち時間の短縮のため、患者さんの希望に添った形で、薬の院外処方推進しました。また、令和3(2021)年3月に外来での待ち時間調査を実施し、更なる改善点の把握に努めました。
- ◇ 心神喪失者等医療観察法に基づく「指定入院医療機関」である第7病棟においては、多職種チームによる手厚い専門医療の提供によって、3名が入院治療プログラムを終了しました。
- ◇ 栃木県DPAT(災害派遣精神医療チーム)先遣隊員を新たに7名養成し、災害等発生時や県内精神科病院での新型コロナウイルス感染拡大などの有事に備え、訓練や機材の準備等を行いました。
- ◇ 「Okadai NEWS」(広報誌)を2回発行し、県民や関係機関へ積極的に情報発信するとともに、継続的に発行するための体制を整えました。



医療スタッフによる検体採取の訓練の様子



「Okadai NEWS」(広報誌)